

月刊

あなたにこの本を！

令和6年9月号

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌IDです。



サイン、小サイン、探訪記

—鉄道文字の探究者、サインの奥深い世界に出会う！—

中西あきこ 著

イカロス出版

1800 円 (0015424759)

ジャンル：暮らしにうるおいを

駅で迷う人を減らすために知恵を絞った手書きの看板や、乗客の安全と目に留まるデザインを考えて生まれたホームの「お見送リエリア」のサインなど、乗客目線の工夫や仕掛けが感じられる駅のサイン。そんな駅の縁の下で力持ちである誘導サインやピクトグラムを、たくさんの写真とともに案内する。商品化もされた多様な新幹線の「顔」のピクトグラム、駅ごとに異なる「ようこそ」の看板など、誘導の役割を超えたサインの魅力が満載で、駅に行くのが楽しくなる一冊。〔686〕



いつかまた、ここで暮らせたら

大崎百紀 著

朝日新聞出版

1500 円 (0015471727)

ジャンル：現代社会を見つめる

自由気ままに生きてきたと自分を評する週刊誌の元記者が、両親の老いに直面し、自ら介護生活に奮闘する様子をつづる。懸命に介護しても、認知症の父と寝たきりの母は「死んでもいい」という悲痛な言葉を口にす。一方で、父が娘に布団をかけるといった、その人らしさが残る描写には心温まる。介護福祉士の資格を取得した著者による福祉サービスの解説資料も掲載されている。老いとは何かだけでなく、その向き合い方を学ぶことができる。〔916/E オオサ〕

雑草学研究室の踏まれたら立ち上がらない面々

稲垣栄洋 著

小学館

1400 円 (0015418833)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

農学部教授の著者が、「イマドキ」な学生を温かな視点でつづる。豊富な雑草の知識をわかりやすく解説しながら、なぜか発芽しないネコジャラシや踏まれやすいところに多い四つ葉のクローバーなどの、卒業研究を通した学生との関わりで得た気づきを共有する。効率重視の社会では報われにくいまじめで遠回りしがちな面々が、実直に課題と向き合う姿は応援したくなる。「踏まれたら立ち上がらない」ことで生き延びる雑草のように、たくましく適した環境を見つけていく姿がみずみずしい。[470.4]

戦争と演芸 — “笑い”は嫌われ、“泣き”も止められ—

柏木 新 著

あけび書房

1600 円 (0015472282)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

戦前から戦中にかけて、落語や浪曲などの演目がどのように変化していったのかを演芸評論家の著者が丹念な調査から探る。講談落語協会は「自粛」の形で演目を制限し、厭戦(えんせん)気分を誘う筋書きは検閲によって修正された。それが当然という風潮のなか、自らの芸で戦争に協力した演者たちにも責任があったと著者は分析する。笑いからも涙からも自由が奪われ、戦争遂行に都合が良い「健全」が押し付けられた時代の息苦しさを生々しく感じることができる。[779]

はじめから国宝、なんてないのだ。

— 感性をひらいて日本美術を鑑賞する —



小林泰三 著

光文社

1600 円 (0015461864)

ジャンル：暮らしにうるおいを

美術館で国宝を見てもいまいちピンとこないのは、感性や教養の問題ではなく、あせた色彩とケース越しの距離の問題だと著者はいう。本書では美術品のデジタル復元師が、当時を再現した環境下での実寸大レプリカを用いた、さわれる国宝鑑賞を提案する。薄暗い室内で浮かび上がる「風神雷神図屏風」や動き出す「平治物語絵巻」など、ただ眺めるだけではわからない本来の魅力を紹介する。豊富な写真と漫画によって鑑賞を疑似体験でき、改めて実物を見に出かけたくなる。[709]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会が推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページ「あなたにこの本を！」でご覧いただけます。



「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。

1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=413